

NPO法人 千葉を美しくする会

年2回発行 (1月1日・7月1日)

発行責任者 長谷川昭次

編集担当者 石井 和美

発行所 NPO 法人千葉を美しくする会

〒273-0005 船橋市本町6-21-16 (日本企画株内)

TEL : 047-426-0026 FAX : 047-426-6071

URL: <http://www.chibao-uthukushi.sactown.jp>

おめでとうございます・今年もよろしくで〜す !!

掃除の不思議

印旛掃除に学ぶ会 小野明子

「掃除の力」という言葉を耳にしたことはありましたが、自分とは無縁だと思っていました。しかし、最近の出来事を思うと、思い当たる気がしてきました。

私は近所の気のあった主婦達5人で毎月1回、街のごみ拾いをしています。『ひとつ拾えばひとつだけきれいになる』の文字が付いた黄色い帽子と、同じ文字のついた黄色いジャンパーを着て活動を続けています。もうすぐ5年目になる11月末日の寒い朝のことです。いつも気になっていたごみが吹き溜まっている危険な急カーブの所で拾っていると、『大変ですね。いつもやっているんですか』と突然市議会議員のO氏に声をかけられました。温かいお茶と甘い茶菓子まで頂きました。それは、拾った空缶の袋よりも重い物でした。O氏の真心に身も心もポッカポカになりました。しばらく拾っていると、警察官がバイクを止めて、にこやかな笑顔で『頑張ってますね。車に気をつけて下さい。』と励まして通り過ぎました。

その後、早朝に起きた火災を消して帰る途中の消防車が、ゆっくりと脇で止まり、『ご苦労さまです。』と消防士の方々が敬礼して走り去りました。予期せぬ出来事が3件も続いたのです。

私は、ゴミ拾いの他に自分磨きと社会貢献のために『心も磨くトイレ掃除』を始めて12年目になります。当初は、外でやるなら家の掃除をやれ!! と、強く後ろ髪を引く夫が今変わってきました。部屋や台所の掃除の範囲が徐々に広がってきた上に、台所の壁に(2/15・3/15・4/15)と張り紙をしてO印を付けています。

毎月15日は夫が便器のセンサーや換気扇を分解して掃除をする日です。又、印旛掃除に学ぶ会で使った濡れた沢山のスポンジやタワシを天日に干して乾かしてくれます。有難う! 助かる! の言葉を繰り返して、楽をさせていただく日々になりました。私が外で活動できるのは、家族や地域の理解と協力があるからです。

何年も続けてきたことにより、不思議な力が作用して『功德?』を頂けたのかな? と感じました。今後も謙虚さを失わず、ゴミ拾いやトイレ掃除をライフワークとして続けていこうと思います。



次の掲載文は先に刊行した「ひたすら日本を美しくー鍵山掃除イズムは企業へそして学校へ」(NPO 法人千葉を美しくする会 23 年 1 月 1 日発行)の巻頭言である。この内容に今も非常に関心がよせられている。何故であろうかと思う。個々でグループで学校で企業で、そして地域ブロックで掃除に学ぶ会を行って、それぞれに成果をもたらした後、ふと立ち止まって行き先を思う時、この巻頭言の内容が大きく道を開け展望を開いてくれるからではないだろうか。



はじめに

「この地上に、一般的な善のために、日本人より犠牲を払える国民はいない」。
エドワード・シルベスター・モースは、他に比類のない日本人の特性を絶賛しています。
清潔で穏和、善悪一恥を知る、是非一善悪の判断など、孔子孟子の教えは、他の民族であれば限られた階層の、一部の人にしかなかった特質ですが、日本では富める者も貧しい人にも、等しく備わっていました。この事を世界の人々から称賛されていました。
私達の祖先は、人に尽くすことを犠牲になるとは思っていませんでした。
他の国民から見ると、あたかも犠牲を払っているかのようなことや、人に尽くすこと、人を喜ばすことを、吾が喜びとする習性が身につけていました。
人の幸せを共に喜び、不幸せを共に悲しむ惻隱の情という優しさを備えていたのです。
世界の民族の中で稀有な美德であったこの美しい心が、今失われようとしています。そして西欧人と同じような「自分さえよければ」という考えの人が多くなりました。
このような自己中心的な考えの人には、感謝の心がありません。
人は感謝の心をもって、はじめて未来への責任感が生まれます。過去への感謝の気持ちがなければ未来への責任が生まれず、「いま私さえよければいい」という、刹那的な生き方をしていくようになります。
それでは社会の秩序が保てなくなります。
国家は、過去と未来をつなぐ架け橋になる人によってのみ保たれていくのです。
このような時期に掃除に学ぶ会が誕生し、その活動を通して高い道徳心を学べるようになりました。私達の祖先が培ってきた高貴な精神を取り戻すことができるのです。
人は周囲の人を喜ばしていると、自信と誇りが生まれ、夢や希望へと成長します。
そして、あらゆることに感謝し、ありがたいと思えるようになります。
飯の糧に、ならないことが、心の糧になる、作家・藤沢周平氏の教えです。
飯の糧だけを求めていたのでは、心が育たないことを世界の歴史が証明しています。
飯の糧にならないことが心を育てるのです。
お金や物だけを追い求める物質文明の潮流の中であって、精神文化が崩壊の危機にある時、掃除に学ぶ会の活動はその危機を救う救世主になると確信いたします。
掃除に学ぶ会の皆様が、トイレ掃除の活動をいつも優先して取り組んでくださるお姿は、モースが献じた賛辞がそのままあてはまります。
掃除に学ぶ会を通して、世界に誇れる心の文化を育てて参りましょう。

左記鍵山相談役の言葉の中に『お金や物だけを追い求める物質文明の潮流の中にあって精神文化が崩壊の危機にある時、掃除に学ぶ会の活動は、その危機を救う救世主になると確信いたします』と言われております。この言葉を受けて NPO 法人千葉を美しくする会は次の活動にも力を入れようと思立ちます。従来の掃除に学ぶ会活動の支援助成やホームページの開設充実はもちろんですが、これらに加えてこの会報の頒布を広めたいという思いです。これまでの会員への頒布のみではなく、広く掃除に学ぶ事が更に理解され広まって行く事を願うのです。

(文責:長谷川昭次)



10月8日臼井西中学校で第2回目の掃除に学ぶ会が行われた。(印旛掃除に学ぶ会支援・NPO法人千葉を美しくする会も助成する)今回も学校主催部活動主体の活動であった。次の2編はその時の感想文である。トイレ磨きによる心の変容が如実に書き表わされている。この心の変容は部活動にも作用して行く事であろう。

心が磨かれたトイレ掃除

2年 高野実紅

先生から突然言われた一言。「トイレ掃除に参加することになりました!」。ちらほらと上がる「えー」という声。私も正直複雑でした。「美術部として吹奏楽部と一緒に参加させていただけるのは光栄だ。でもトイレ掃除なんて、普段学校で掃除をまじめにやっていない人にやらせればいいのに。日頃きちんと掃除をやっている私がやることに何の意味があるんだろうか。」とっていました。

迎えた当日、たくさんの種類の掃除用具を手に、黙々と便器に向かいました。思いがけず時間はあっという間に過ぎていきました。磨いているうちに、汚れている部分がどんどん目に入ってきて、終了時間が近づいていても「もっとキレイにしたい」と思うようになっていたのは覚えています。後から考えて気がついたことは、自分の「キレイ」の基準がどんどん磨かれていったということ。一見キレイに見えても「まだ、ここが。」と気がついたり、日常生活でも「ここは、こんなに汚れていたんだ」と感じる事が多々出てくるようになったのです。掃除に学ぶ会に参加させていただけたおかげで、自分がキレイ好きになれた気がします。部活はもちろん、学校生活や家でも気持ちよく過ごす為に、出来る事を探したいと思います。ありがとうございました。

素手で行う理由

2年 河内まりな

「素手でトイレ掃除を行います。」それを聞いた時、正直私は、「絶対いやだ」と思いました。そもそもトイレ掃除自体あまりやる気にはならないのに、それを素手でやるとなるとなおさら嫌でした。手に消毒をしたものの、やはり手袋をつけたかったです。けれど皆もつけてなかったので自分も頑張ってみようと思いました。私は男子トイレの掃除でした。便器の裏側など見えない所には水垢などの汚れがこびりついていて、なかなかとれませんでした。けれど時間がたつにつれ素手でやっている事など気にもとめず、ただ汚れを落とそうという一心で黙々と行っていました。トイレ=汚いというイメージは消え、このトイレを綺麗にしたいという気持ち芽生え始め、あっという間に終わりの時間になってしまいました。この汚れは、どの道具をどのように使えばきれいになるかを考えながらやり、時には先生方にやり方を教わりました。また、今回のトイレ掃除は、手袋をあえてしないことにより、触れて見えない汚れを見つけるという事ができたのだと思います。手袋をしていては気付かない事も一杯ありました。

「トイレ掃除」という行事から沢山の事を学ぶ事ができたと思います。とてもやりがいのある事だと思いました。

平成23年7月～12月月例会実施表

| 開催日 | 開催場所 | 実行委員長 | 世話人地区 | 参加人数 |
|------------------------|---------------------------------------|-------|----------|------|
| 7月13日(水) | 旭中央小学校 | 山本三男 | 山武掃除に学ぶ会 | 130人 |
| 7月16日(土) | 成田市立中郷小学校 | 鈴木正一 | 印旛掃除に学ぶ会 | 44人 |
| 7月19日(火) | 木更津市立富岡小学校 | 小川義則 | 上総掃除に学ぶ会 | 90人 |
| 9月29日(木) | 成田市立玉造小学校 | 鈴木正一 | 印旛掃除に学ぶ会 | 54人 |
| 10月8日(土) | 佐倉市立臼井西中学校 | 鈴木正一 | 印旛掃除に学ぶ会 | 65人 |
| 10月22日(土) | 市原市立双葉中学校 | 小川義則 | 上総掃除に学ぶ会 | 150人 |
| 10月29日(土) | 印西市立印旛中学校 | 日暮尚子 | 印旛掃除に学ぶ会 | 78人 |
| 11月5日(土) 11月6日(日) | 秋季関東ブロック大会 浦安市立美浜南小学校 // 美浜南幼稚園 | 藤岡利雄 | 京葉掃除に学ぶ会 | 283人 |
| 11月18日(金) | 八日市場第1中学校 | 山本三男 | 山武掃除に学ぶ会 | 132人 |
| 11月19日(土) | 旭市立干潟中学校 | 山本三男 | 山武掃除に学ぶ会 | 125人 |
| 11月26日(土) | 富里市立富里中学校 | 鈴木正一 | 印旛掃除に学ぶ会 | 88人 |
| 12月10日(土) 12月11日(日) | 県立大網高校 講演会 // 掃除実習 | 山本三男 | 山武掃除に学ぶ会 | 156人 |
| 12月17日(土) | 県立八街高校 | 鈴木正一 | 印旛掃除に学ぶ会 | 59人 |

平成24年1月から6月月例会実施予定表

| 開催日 | 開催場所 | 実行委員長 | 世話人地区 | 参加人数 |
|----------|-----------|-------|----------|------|
| 1月9日(月) | 銚子市立第4中学校 | 山本三男 | 山武掃除に学ぶ会 | |
| 1月21日(土) | 成田交際高校 | 鈴木正一 | 印旛掃除に学ぶ会 | |
| 2月23日(木) | 多古町久我小学校 | 鈴木正一 | 印旛掃除に学ぶ会 | |
| 2月24日(金) | 君津市立周西小学校 | 小川義則 | 上総掃除に学ぶ会 | |

編集後記

NPO 法人千葉を美しくする会の事業の一環として本の頒布を致します。
題して「日本人が知らない日本の底力」です。東日本大震災の復旧復興の事を考え、日本の国の前途を憂えておりましたら、この本に出会いました。読み方によっては、日本には世界的に良い国になる基・底力が有る事が自ずとわかり、安心し勇気付けられるかも知れません。掃除に学ぶ事と相まって。

尚、この本の頒布は会員のみに限ります。

記長谷川昭次